

四日市市立水沢小学校

学校だより



令和6年1月27日 第50号



業間なわとびをがんばっています。

現在、20分休みを利用して「業間なわとび」を行っています。2限目の授業が終わると、「業間なわとび」が始まる合図の音楽が鳴り、子どもたちが運動場に集まってグループごとに大なわとびの練習が始まります。業間なわとびでは、縦割り班を基本としたグループで、大なわとび(8の字とび)を行っています。高学年の子たちや教員がなわを回し、8の字とびで、前から順番に並んでなわを跳んでいき、グループで3分間に跳べた回数を競います。1年生は初めての経験で、最初回っているなわに飛び込んでいくのに恐怖心があり、勇気がいったと思いますが、高学年の子たちがやさしく声をかけてくれているおかげで、少しずつ上級生と同じように跳べるようになってきました。

なわとび集会の当日はチャレンジが3回(3分間)あり、一番とべた回数を競います。

1月28日(火)のなわとび集会では、異学年集団で楽しく協力し、終わった時に充実感のある穏やかでやさしい気持ちにみんながなれることを願っています。各グループでなかまと相談して他のグループと回数を競い合うのもよし、下級生にやさしくとび方を教えて楽しい時間にするのもよし、それぞれのグループごとにめあてがあってもいいと思います。ただし、くれぐれもケガのないように、一所懸命がんばってくれることを期待しています。



家庭教育講座を開催しました。

1月23日(木)は、午前中に授業参観があり、その中で本校の家庭教育講座として「いじめ防止講演会」を行いました。吉本興業所属のお笑い芸人 オレンジ田中さんをお招きし、1~4年生、5,6年生のまとまりで、保護者、教職員も参加し、それぞれ1時間ずつ講演をしていただきました。それぞれの時間、子どもたちの発達段階に合わせて体を動かしたり、ゲーム要素を取り入れたり、パワーポイントを使っていたりして、保護者と教職員、子どもたちがわかりやすく学べる機会となりました。「なっとうの歌」では、教員が前に出て、子どもたちと一緒に体を動かしました。前で実演した教員個々に、オレンジ田中さんがチャチャを入れ、子どもたちは大喜びでした。低・中学年の部では、伝言ゲームの時間があって、体を使ったジェスチャーで、相手に伝えたいことを伝える活動をしました。教員チームには「酔っぱらっている〇〇〇〇(芸能人の名前)」というお題が出されましたが、ジェスチャーが相手になかなか伝わらず、苦戦していました。子どもたちのチームのお題は、「水泳をしているゴリラ」でしたが、上手に表現をしていて、見事正解をしていました。



オレンジ田中さんからは、どんなことがあっても「叩いたり蹴ったりしない」「人の悪口を言わない」「なかまはずれをしない」という3つのことを大切にすることを伝えていただきました。高学年の時間では、ご自身の中学・高校時代、吉本芸人になってからのいじめの実体験や、現在活動をする中で感じられたことを話され、自分が生きていく中で何を大切にすればいいのかを教えていただきました。「自分がつらい時には、先生や親など、身近な人につらくて困っているシグナルを出して」「SNSに書き込みをしても誰が書いているかわからず、出てきた情報は信用ができないので、相談することはしないで」といったメッセージもいただきました。

講演会の最後には、「水沢小学校さいこう」って、保護者と教職員、子どもたちみんなで、こぶしを突き上げて叫びました。とても有意義な時間が過ごせました。子どもたちの元気な笑顔が素敵でした。

ホッカイロを寄贈していただきました。

子育て支援活動をされている「Baby&Child's Garden」という団体から、子どもたちにホッカイロを寄贈していただき、先日1人2個ずつ配付をさせていただきました。「少子化に勝力を 高齢化に活力を」というキャッチフレーズで『個人だからできること 個人でしかできないこと』を大切に、日々活動をされています。地域のために、自分が貢献できることを何か考えてやってみる、ということはとても素晴らしいことです。本当にありがとうございました。(文責 北住 昌文)